



Title	プロ相だより 大阪大学大型計算機センターニュース 第97号 (Vol.25 No.2)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1995, 97, p. 31-55
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/66113">https://hdl.handle.net/11094/66113</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## プログラム相談事例

本センターへのプログラム相談方法として、①直接相談室へ来室 ②電話 ③FAX ④電子メール があります。利用者の方の相談は、プログラム相談員を中心に、センター職員、学内外の利用者のご協力をいただき回答しています。

ここでは電子メールによるプログラム相談の中から、よく受ける相談、知っていて欲しい相談内容を紹介したいと思います。皆様の利用時の参考になれば幸いです。なお、個人名、メールアドレスは削除しています。

また、電子メールでの相談内容は電子ニュースのニュースグループ (center.questions) でも見れます。

【質問先】 E-mail questions@center.osaka-u.ac.jp

### \*\*\*\*\* ACOS関係 \*\*\*\*\*



ACOS-TSS、TELNET、ODINS、MAC、FTP

初歩的なことかもしれませんが教えて下さい。

これまで ACOSをTSSで使用 端末：PC9801 ASTERを使用

ASTERのように簡単にODINS経由で、ACOSをTSSで使いたい 端末：Mac

トライしてみたこと。「Telnet」で「acos@center～」に入って使用

作成したファイルを「Fetch」でとってこようとしたが失敗。

- ・Telnetで入ったら、98使用時のようにラインエディターが使えないのですが、うまい方法はあるのですか？
- ・Fetchでどこにアクセスすればよいのですか？（自分のカタログがある場所が良くわかりません）
- ・ASTERのように、ファイル転送が簡単にできるものはあるのですか？

例えば、回答集のようなものがセンターのanonymous ftpにあるのでしたらその場所を教えてください。一応それっぽいところは探してみたのですが、見つかりませんでした。よろしくお願いします。

### 回答 1

> ASTERのように簡単にODINS経由で、ACOSをTSSで使いたい 端末：Mac

私も少しはMacを使用しますが、いきなりacosへftpをやって成功した経験はありませんので、多分acos側でKin Koutのコード変換等をする必要があると思います。

> トライしてみたこと「Telnet」で「acos@center～」に入って使用。

> 作成したファイルを「Fetch」でとってこようとしたが失敗。

fetchは出来ますよ、acosだってccsparc01だってディレクトリーは同じですよ。try once more!

> ・Telnetで入ったら、98使用時のようにラインエディターが使えないのですが、うまい方法はあるのですか？

スクリーンエディターの間違いでは、、、Mac> telnet to >acosの状態では無理ですねー、98純正tcp/ipインターフェイスボード、telnet>acosであればtcp/ip版mieditがセンターにあります。ご

存知acos6/mieditが98で動作しますし、ファイル転送も全く問題ありません。ダウンロード後に即ローカルファイルとして読み書きできます。但し、98/純正tcp/ipボード odinsの環境でのみ。

> ・Fetchでどこにアクセスすればよいのですか？（自分のカタログがある場所が良くわかりません）acosの場合は、133.1.4.102でfetch接続できますから、後はcata, s, aで見えるのと同じdirectoryにありますよ。

> ・ASTERのように、ファイル転送が簡単にできるものはあるのですか？

さて、いよいよ本題のファイル転送の問題ですが、今即にと言われると、No, probably may not ! では出来ないのかと言われると、出来ます、何とか。ccsparc01を介してスヌーカの二段打ちになりますが、まずacosで漢字コード変換をします。

プログラム(センターの好意により提供)は以下のものを使用します。

```
-----
*list w
0010$*$REM/* NEC KANJI CODE -> JIS KANJI CODE */
0040EDIT
0050OCTL 0
0055$*$REM/* SUB.p (NEC KIN) -> ESC.$ .B (JIS KIN) */
0060RS:/00320160/;*/003300440102/
0070B
0075$*$REM/* SUB.Q (NEC KOT) -> ESC.(. J (JIS KOT) */
0080RS:/00320161/;*/003300500112/
0090DONE
*old /nacsis/fscat/jscatcmp これが転送用のファイルです
*crun /w
*EDIT
-OCTL 0
-RS:/00320160/;*/003300440102/
END OF FILE - REQUEST EXECUTED 1380 TIMES
-B
-RS:/00320161/;*/003300500112/
END OF FILE - REQUEST EXECUTED 1961 TIMES
-DONE
*resa /tt
TCMD536 I データをファイル TT にセーブしました
*ftp 133.1.4.34                スパークへ接続します
Connected to 133.1.4.34.
220 ccsparc01 FTP server (SunOS 4.1) ready.
(username):登録番号
331 Password required for 登録番号.
(password):

230 User 登録番号 logged in.
ftp>put /tt ~/jscatcmp.acs
200 PORT command successful.
150 ASCII data connection for /usr1/登録番号/jscatcmp.acs (133.1.4.102, 3849).
226 ASCII Transfer complete.
local: /tt --> remote: ~/jscatcmp.acs
110715 bytes send in 1.207 seconds (89.594 kbytes/s)
ftp>quit
221 Goodbye.
-----
```

以上でjscatcmp.acsがccsparc01に載りましたから、acosをbyeでlogoutしてから再度telnet 133.1.4.34 (ccsparc01)へlogonしてコード変換プログラムnkfを通してccsparc01上で読めるようにします。

ccsparc01 /home/ccup01/user1/登録番号<151>%nkf jscatcmp.acs>jscatcmp.sjsで変換ができますから、後はftpかfetchでダウンロードして下さい。もし以上のnkf変換で漢字化けが起こるようでしたら、nkf -s ??? .sjs > ??? .jis をやってみて下さい。

## ----- 回答 2 -----

> ・Telnetで入ったら、98使用時のようにラインエディターが使えないのですが、うまい方法はありますか？

SimpleTextまたはTechTextなどでソースを作成します。lbyte文字で作成し、Fetchでtext転送すれば良いでしょう。

> ・Fetchでどこにアクセスすればよいのですか？

>> acosの場合は、133.1.4.102でfetch接続できます

User ID:は利用者番号;aと指定します。PasswordとDirectoryを指定しOKを押します。Enter Password:と聞いてくるので、そのままOKを押します。犬が走り終わるまで待ちます。

注意: Fetchでacosに接続した場合にfileは確認できますが、catalogは見れません。

catalogを変更するときは、メニューバーのDirectories --> Change Directoryで指定し変更します。

> ・ASTERのように、ファイル転送が簡単にできるものはあるのですか？

macでインターネットならFetchでしょう。



## ACOS-TSS, TELNET, FTP

インターネットを通じてTSSに接続できるようになりました。がファイル転送の方法がよくわかりません。教えてください。

ftp コマンド

## ----- 回答 -----

恐らくコード変換の問題を質問されていると思われませんが、取り敢えずは基本的なftpから話しを始めさせて頂くと、

```
-----  
ccsparc01 /home/ccup01/user6/登録番号<151>%ftp 133.1.4.11  
Connected to 133.1.4.11.  
220 ccews01 FTP server (EWS-UX/V (Rel4.2)) ready.  
Name (133.1.4.11:登録番号): 登録番号  
331 Password required for 登録番号.  
Password:  
230 User 登録番号 logged in.  
ftp> ?  
Commands may be abbreviated.  Commands are:
```

!	cr	macdef	proxy	send
\$	delete	mdelete	sendport	status
account	debug	mdir	put	struct
append	dir	mget	pwd	sunique
ascii	disconnect	mkdir	quit	tenex
bell	form	mls	quote	trace
binary	get	mode	recv	type
bye	glob	mput	remotehelp	user
case	hash	nmap	rename	verbose

```

cd          help          ntrans      reset       ?
cdup        lcd           open        rmdir
close       ls             prompt      runique
ftp> ls
200 PORT command successful.
150 ASCII data connection for /bin/ls (133.1.4.34,4327) (0 bytes).
Mail
RMAIL
RMAIL^
osirase.sx3
osirase.sx3^
pop
rmail.jis
rmail.jis^
rmail.ojs
typescript
typescript^
226 ASCII Transfer complete.
145 bytes received in 0.043 seconds (3.3 Kbytes/s)
ftp> help get
get         receive file
ftp> help put
put         send one file
ftp> quit
221 Goodbye.
ccsparc01 /home/ccup01/user6/登録番号<153>%^D

```

で送受信はできます。さてファイルをダウンロードした際の漢字コードの問題は、両方のマシンおよびセットアップにかかってきますから簡単ではありません。片側でコード変換してから送信する方法が一番簡単ですが、センターのccsparc01 (133.1.4.34)でsjsからjis変換してから送信する場合は、

```

>>ccsparc01 /home/ccup01/user1/登録番号<151>%nkf jscatcmp.acs>jscatcmp.sjsで変換ができませんから、後はftpかfetchでダウンロードして下さい。
>>もし以上のnkf変換で漢字化けが起こるようでしたら、nkf -s???.sjs > ??? .jis をやってみて下さい。

```

## 質問 ACOS-TSS、TELNET、接続方法

学術情報センターに計算機センターのACOSから登録を試み、Tera-Termを用いて、acos.center.osaka-u.ac.jpへ接続したのですが、TELOO1 ENTER \$\$\$CON CMD. と表示されてからの入力の方法が判りません。宜しくご指導お願いいたします。

## 回答

```
TELOO1 ENTER $$$CON CMD
```

と表示されましたら、\$\$\$CON, TSS と、入力して下さい。以下の例が参考になれば幸いです。

```

-----
ccews02% telnet acos.center.osaka-u.ac.jp
Trying 133.1.4.102 ...
Connected to acos.center.osaka-u.ac.jp.
Escape character is '^]'.

```

TELO01 ENTER \$\$\$CON CMD.  
\$\$\$CON, TSS

OSAKA TSS(A6NVX R2.0) ON 06/26/95 AT 11:26:17 CHANNEL 3164 LU=APL00004

USER ID -利用者番号;a

PASSWORD--  
PASSWORD

<<<<< .... 9238 YEN RESOURCES USED ( AVAILABLE ... 60762 YEN ) >>>>>  
<<<<< .... 8044 LLINKS FILE SPACE USED >>>>>

SYSTEM ?\$apply

APPLICATION STATUS.

NAME	BUDGET	INFORMATION	STATUS
GAKUZYUT	\$ 10,000	YES	USABLE
TOKYO	\$ 10,000	YES	USABLE
KYOTO	\$ 10,000	YES	UNDER APPLYING

NEXT STEP(YES/NO) ? NO

NORMAL END

SYSTEM ?bye

OCST001 I ACCOUNT INFO CPU= 1SEC CON=1MIN  
COST=8YEN CURRENT COST=9,238YEN TYPE=STANDARD  
LU=APL00004 ON 11:26:19 - OFF 11:27:02 06/26/95

TELO06 DIS - CP  
Connection closed by foreign host.

-----  
**質問** ACOS-BATCH処理、プリンター出力  
-----

ACOSでバッチ処理で計算結果を研究室のプリンターに出力するにはどうしたらよいのでしょうか？

-----  
**回答**  
-----

ACOSのBATCH-JOBの結果(text形式)をACOSのFILEに保存する方法を説明します。  
後は、そのACOSのFILEをftp等でDownloadしてプリンター出力してください。  
以下にその例を示します。

CRJE350 I S NUMB 名 # 0533T

\*JOUT 0533T

ACTI#	RC	LINE	HOLD	CLASS
-------	----	------	------	-------

--	\$\$	--	--	C
001(NRUNOF)	01	8	YES	C

CRJE012 R ファンクション?COPY 001/01;IRA-AAA

TCMD540 I 1 L L I N K コピーしました。

-----BATCH-JOBのSNUMB名です。

-----JOUTコマンドでSNUMB名を指定します。

-----JOBの出力レポートです。

-----COPY ACTI番号/RC番号;ファイル名

と指定することによりコピーされます。

\*

ただし、ACOSの漢字コードのシフトコードは特殊なため、データが1ByteのText形式以外はそのままftpできません。漢字コードや制御コードが含まれている場合は、MIFT(MIEDIT)や^DTSAVE(ASTER)やFTRN(ETG)等を利用してください。これらの詳細はセンターニュースの(Vol. 21 No. 1)1991に「ファイル転送のまとめ」として記載されています。また、図形の出力は加工が難しいと思います。

質問が簡単すぎて、利用者側の環境が特定しづらいために、的はずれな回答になっているかも知れません。次回から質問される場合はもっと、利用する環境を詳しく記述してください。



## ACOS-TSS、TELNET、MAC

MacからODINSを介してTelnetでacosにaccessして、SPSSを使っています。

1つだけ困っていることがあるのですが、それはMacのreturn keyを押すと、return key 2回分反応してしまいまして、たとえばACCEなどのコマンドを実行しようとする、ファンクション?などの指定をしないうちに通り過ぎてしまったりするわけです。何か設定がおかしいのでしょうか?ご教示ください。

## 回答

returnキーの代わりにcontrol+jを利用してください。



## ACOS-TSS、BATCH FILE

現在、有限要素法プログラムをACOS上で基本形バッチジョブとして実行させています。さて、プログラム中で数メガバイトの一時ファイルを使用していますが、以下のOPEN文ではバッチジョブとして実行させる場合にのみファイルが開けません。

```
.....
OPEN(8,,STATUS='SCRATCH',FORM='UNFORMATTED')
```

```
.....
WRITE(8) ...
```

```
.....
```

(中略)

質問ですが、

- 1) ACOSのバッチジョブでは、一時ファイルの使用はできないのでしょうか?
- 2) 一時ファイルのFORTRANからのOPENはどのようにしたら良いのでしょうか?

ここで、一時ファイルとはプログラム実行時に自動生成され、終了時に自動消去されるファイルとします。(できれば、一時ファイルの分の課金は避けたいのですが、。)

## 回答

ACOS のバッチジョブの場合、JOB制御言語にも、一時ファイルの指定が必要なようです。\$FILE文と言いまして、

```
$ FILE fc,lud,size
```

の形式をとります。今回のOPEN文の場合、たとえば、以下のようにして下さい。

```
$ FILE 08,X1R,100L
```

最後の 100L はサイズですので、必要な分、確保する必要があります。上記の場合、単位は LINK になっています(ただし、Lは、順編成ファイルの意)。

また、X1Rというのは、まあ、このファイルを計算機が識別するためのコードと考えてやって下さい。このファイルを次のアクティビティで使用するには、最後のRをSに変えてやり、次のアクティビティで同じくX1Sと指定してやれば、別の装置番号でも使用できますが、今回は、多分、その必要はないのだと思います。

以下に、簡単な使用例を付加しましたので、参考になりましたら幸いです。

```
-----
*list ./ex2
0010      implicit none
0020      real a(1000)
0030      integer i,j
0040C
0050      do 10,i=1,1000
0060 10    a(i)=sngl(i)
0070      open(unit=8,file='file8',status='unknown',form='unformatted')
0080      write(unit=8) a
0090      rewind 8
0100      read(unit=8) (a(i),i=1,1000)
0110      do 20,i=1,500
0120          write(unit=6,fmt='(''  a('',i5,'')='',f8.2,'''  a('',i5,
0130      &          ''='',f8.2)') 2*i-1,a(2*i-1),2*i,a(2*i)
0140 20 continue
0150      stop
0160      end
```

```
*remo ex2
*old ./ex2.jcl
*list
$      JOB      ,E
$      FRT77    NFORM,LNO
$      PRMFL    S*,R,S,X00000/EX2
$      GO
$      FILE     08,X1R,100L
$      ENDJOB
```

```
*run
CRJE001 R カード形式とディスポジション?a
CRJE002 R タブ文字と位置?
CRJE350 I  S NUMB名 # V691T
*jmon *
CRJE409 I V691T(002)は実行中です @ 12:51:24
CRJE447 I デマンドファイル内の V691T は出力待ちです @ 12:51:34
CRJE600 I NORMAL TERMINATION
```

```
*jout *
ACTI#      RC      LINE  HOLD  CLASS
--         $$      --    --    D
001(FRT7V ) 74      11    YES   D
002(LINKER) 74      23    YES   D
003(****RU) 06      501   YES   D
CRJE012 R ファンクション?acti 3
CRJE012 R ファンクション?epri 06
```

```
a(  1)=    1.00  a(  2)=    2.00
a(  3)=    3.00  a(  4)=    4.00
a(  5)=    5.00  a(  6)=    6.00
```

a( 7)= 7.00 a( 8)= 8.00

(中略)

a( 991)= 991.00 a( 992)= 992.00  
a( 993)= 993.00 a( 994)= 994.00  
a( 995)= 995.00 a( 996)= 996.00  
a( 997)= 997.00 a( 998)= 998.00  
a( 999)= 999.00 a( 1000)= 1000.00

CRJE317 I レポート 06 の終了です

CRJE012 R ファンクション?hold



## ACOS-TSS、FORTRAN

- 1) acos上でfortranを動かす際、if文の実数比較に、.NE. .EQ. が使えませんが、.GT. .LT.や elseを用いて間接的に比較しても問題ないのでしょうか。また他に方法があれば教えてください。
- 2) ひとつのプログラムで計算結果を1000個程のファイルに書き出したいのですが、(open文でfileを指定し作成することはできないようですが、) コマンドを利用すると(runのパラメータやacceでファイルを指定するのが)、大変な労力になってしまいます。プログラム上で指定・作成する方法はないのでしょうか。また他に何か効率のよい方法があれば教えてください。

## 回答

- > 1) acos上でfortranを動かす際、if文の実数比較に、.NE. .EQ. が使えませんが、.GT. .LT.や  
> elseを>用いて間接的に比較しても問題ないのでしょうか。  
> また他に方法があれば教えてください。  
えっと、警告メッセージはでてきますが、使えないことはありません。警告を無視すれば、動くことは動きます。例えば、

```
*list
0010    implicit none
0020    real a
0030    integer i
0040c
0050    a=1.00
0060    do 10, i=1, 100
0070        a=a+1.00
0080        if (a. eq. 10.0. or. a. eq. 20.0) then
0090            write(unit=6,fmt='('' a='',f10.5)') a
0100        end if
0110    10 continue
0120    stop
0130    end
```

\*run

行番号 80 プログラム . . . . .

<W> 1470 .EQ.や.NE.による実数比較は、論理IF文の式として意味がない可能性はある

a= 10.00000

a= 20.00000

と言った感じで、少なくともこの場合は、意図通り、動いてくれています。  
もともと、危ないことも確かですので、例えば、  
if (a. gt. 9. 99999. and. a. lt. 10. 0001) then  
と言った感じで、記述する方が無難ではあります。

> 2) ひとつのプログラムで計算結果を1000個程のファイルに書き出したいのですが、(open文で  
> fileを指定し作成することはできないようですが、)  
これは、同時に1000個のファイルをオープンする必要があるのでしょうか？ そうでなければ、以下のプログラム例のように、open と close を繰り返すことによって、1つの装置番号で、いくつでもファイルを作成することができます。

```
-----  
0010      implicit none  
0020      character*1 ch1, ch10, ch100  
0025      character*8 fname  
0030      integer i, j, k, l  
0040      real      a, b, c  
0050c  
0060      do 10, i=1, 20  
0070          j=i/10  
0080          k=i-i/10*10  
0090          ch1=char(k+48)  
0100          ch10=char(j+48)  
0110          fname='file'//ch10//ch1  
0115          write(unit=6, fmt='('' i='', i3, '' fname='', a8)') i, fname  
0120          open (unit=1, file=fname, status='new')  
0130              write(unit=1, fmt='('' fname='', a8)') fname  
0140          close(unit=1)  
0150      10 continue  
0160      stop  
0170      end  
-----
```

これは20個の例ですが、同様にして1000個でも可能だと思います。ご参考になりましたら幸いです。

## ACOS-TSS、TELNET

質問です。

- 1) ACOSに落としたtextファイル(例えば\$BSSの記事)をFTPで引っ張ってきても、EKCやNKFのコード変換ツールにかかりません。
  - a) ACOS側で最初からEUC, JIS, S-JISに変換しておくことはできませんか？
  - b) だめならDOS上でACOSのコードをEUC, JIS, S-JISに変換するtoolはありませんか？
- 2) 私の環境はWINDOWSのPPPからACOSに行くのですが、FTPソフト(の設定)によっては、ACOS上のファイル名が見えない場合があります。ホストタイプの設定は何を選べばよいのでしょうか？(できればWS\_FTPで説明して下さい。) 専攻柄、手引きにあるようにNTSSでkyotoにはいい、DLS MINJIで判例を検索しようと思ったのですが、みかけ上いけたように見えても、漢字コードがあってなくて、ヒットしません。
  - a) データベース検索の際の漢字コードのあわせかたの具体例をご教示下さい。
  - b) 所属研究室では、相手に直接telnetした方が話が早いということで、kyotoのアドレスを教えてくださいましたが、それならデータベース利用ガイドにもNTSS経由だけでなく、各大計のアドレスを直接指定するlogonの仕方も掲載して下さい。

一応以下のやり方でNACISISのデータベースの一バイト文字を画面に表示出来るのですが、a2ps 変

換してポストスクリプトプリンタへ出すとやっぱり一バイトのカタカナが出力出来ません。が画面までは表示できるようになりましたので報告しておきます。

```
script ~/typescript
telnet 157.1.16.2 to get nacsis
C-d to stop script & to get output to the file typescript
mule typescript
cat typescript.aut | more      should show on the screen with kanji
```

## ----- 回答 -----

> ACOSに落としたtextファイル(例えば\$BSSの記事)をFTPで引っ張ってきても、EKCやNKFのコード変換ツールにかかりません。  
> a) ACOS側で最初からEUC, JIS, S-JISに変換しておくことはできませんか?  
> b) だめならDOS上でACOSのコードをEUC, JIS, S-JISに変換するtoolはありませんか?  
まずファイルのコード変換については、以下のようなやり方で可能だと思いますので参考にして下さい。  
ccsparc01を介してスヌーカの二段打ちになりますが、まずacosで漢字コード変換をします、プログラム(センターの好意により提供)は以下のものを使用します。

```
-----
*list w
0010$*$REM/* NEC KANJI CODE -> JIS KANJI CODE */
0040EDIT
0050OCTL 0
0055$*$REM/* SUB.p (NEC KIN) -> ESC. $. B (JIS KIN) */
0060RS:/00320160/;*/003300440102/
0070B
0075$*$REM/* SUB.Q (NEC KOT) -> ESC. (. J (JIS KOT) */
0080RS:/00320161/;*/003300500112/
0090DONE
*old /nacsis/fscat/jscatcmp   これが転送用のファイルです
*crun /w
*EDIT
  -OCTL 0
  -RS:/00320160/;*/003300440102/
  END OF FILE - REQUEST EXECUTED 1380 TIMES
  -B
  -RS:/00320161/;*/003300500112/
  END OF FILE - REQUEST EXECUTED 1961 TIMES
  -DONE
*resa /tt
TCMD536 I データをファイル TT にセーブしました
*ftp 133.1.4.34                スパークへ接続します
Connected to 133.1.4.34.
220 ccsparc01 FTP server (SunOS 4.1) ready.
(username):登録番号
331 Password required for 登録番号.
(password):

230 User 登録番号 logged in.
ftp>put /tt ~/jscatcmp.acs
200 PORT command successful.
150 ASCII data connection for /usr1/登録番号/jscatcmp.acs (133.1.4.102,3849).
```

```
226 ASCII Transfer complete.
local: /tt --> remote: ~/jscatcmp.acs
110715 bytes send in 1.207 seconds (89.594 kbytes/s)
ftp>quit
221 Goodbye.
```

-----  
以上でjscatcmp.acsがccsparc01に載りましたから、acosをbyeでlogoutしてから再度telnet 133.1.4.34 (ccsparc01)へlogonしてコード変換プログラムnkfを通してccsparc01上で読めるようにします。ccsparc01 /home/ccup01/user1/登録番号<151>%nkf jscatcmp.acs>jscatcmp.sjsで変換ができますから、後はftpかfetchでダウンロードして下さい。もし以上のnkf変換で漢字化けが起こるようでしたら、nkf -s???.sjs > ???jis をやってみて下さい。

```
ccsparc01 /home/ccup01/user1/登録番号<152>%nkf -s jscatcmp.sjs>jscatcmp.jis
```

> 私の環境はWINDOWSのPPPからACOSに行くのですが、FTPソフト（の設定）によっては、ACOS上のファイル名が見えない場合があります。ホストタイプの設定は何を選べばよいでしょうか？（できればWS\_FTPで説明して下さい。）

acosのファイルおよびディレクトリーが見えないのであればftpのしようがないですね、申し訳ありませんが手元にWS\_FTPがありませんので確認のしようがないのですが、現在gateway2000でwvtnでftpを使用しておりますが、acos/directoryは画面に表示できております。センターのsystem管理からも聞いておりますが、Macのftpでもacos/directoryが表示されないことがあるそうです。消極的なことを申し上げるようですが、設定値変更で対応できない場合はソフトの変更もやむえないと思います。

> 専攻柄、手引きにあるようにNTSSでkyotoにはいり、DLS MINJIで判例を検索しようと思ったのですが、みかけ上いけたように見えても、漢字コードがあってなくて、ヒットしません。

> a)データベース検索の際の漢字コードのあわせかたの具体例をご教示下さい。

> b)所属研究室では、相手に直接telnetした方が話が早いということで、kyotoのアドレスを教えてくださいましたが、それならデータベース利用ガイドにもNTSS経由だけでなく、各大計のアドレスを直接指定するlogonの仕方も掲載して下さい。

実は最近私もnacsisへ接続したことから同様な経験をしましたので、その件から申し上げますと、数年前までは京都や東京は学術情報網と大型汎用機を中心にした運用をしておりました。今もN1プロトコルによる学術情報網は健在であるのですが、そこへtcp/ipを使用した利用が急激に増加しはじめたためにN1プロトコルでは解決済みのコード変換の問題が浮上してきたのです。

さて回答ですが、N1プロトコルにしてもtcp/ipにしても利用の相手は汎用機ですから、手元のパソコンは汎用機の専用端末エミュレーションが出来る必要があります。従って手持ちのソフトがtcp/ip対応であり接続先の汎用機の完全対応版であれば漢字コードの対応もしている筈です。インターネットでどこへでもと言うのはabcの一バイト文字の話しであって、それ以外の事ではないのです。

NACISISのデータベースのデータに一バイトのカタカナが現在も含まれています。検索結果として保存したい場合にどうするかという問題が生じてきます。メールでもtabooである一バイトのカナをunixシステムで表示させたりプリントするのは困難です。

> 一応以下のやり方でNACISISのデータベースの一バイト文字を画面に表示出来るのですが、a2ps 変換してポストスクリプトプリンタへ出すとやっぱり一バイトのカタカナが出力出来ません。が画面までは表示できるようになりましたので報告しておきます。

```
> script ~/typescript
```

```
> telnet 157.1.16.2 to get nacsis
```

```
> C-d to stop script & to get output to the file typescript
```

```
> mule typescript
```

```
C-x C-k d to choose proper code conversion
```

```
Display-coding-system ?
```

```
*autoconv* just type in to select conversion mode
```

```
C-x C-w to write out the contents to the file "typescript.aut"
```

C-x C-c to stop mule

> cat typescript.aut | more should show on the screen with kanji

```
Script started on Tue Aug 1 21:32:27 1995
ccews01 /home/ccup01/user1/登録番号/nacsis<151>%telnet 157.1.16.2
Trying 157.1.16.2 ...
Connected to 157.1.16.2.
Escape character is '^]'.
```

VOS3 XNF/TCP 03-01 TELNET Service Ready.

The following application ids are available to TELNET.  
The default is TSSTA

Valid Terminal Types

01 - LINE MODE (JIS7)	02 - FULL SCREEN MODE (ASCII)
03 - LINE MODE (EUC)	04 - FULL SCREEN MODE (EUC)
05 - LINE MODE (SHIFT-JIS)	06 - FULL SCREEN MODE (SHIFT-JIS)

Please enter terminal identification number:

03

JET12012A ENTER USERID -  
登録番号

JET12026A ENTER PASSWORD FOR 利用者番号 -

JDT253I 利用者番号 LAST EXECUTION DATE=95.08.01 TIME=20.56.24

JET10065I TSS 利用者番号 STARTED TIME=21:33:16 DATE=95-08-01

>> YOUR ACCOUNT (A, ¥1837, ¥8163, ¥10000) ATTRIBUTE (J) <<

>>>> WELCOME TO NACSIS-IR (95-08-01 21:33:18)

+++ ENTER "NEWS" COMMAND TO SEE NEWS FROM NACSIS. (UPDATED ON 95-07-21)

>> jsc news

\*----- NACSIS-IR NEWS -----\*

N1 「臨床症例データベース」の収録対象雑誌の拡大 95-07-21

N2 MENU及びLISTコマンドの変更について 95-06-19

N3 「国会図書館科学技術欧文会議録データベース」 95-06-05

項目等の変更

-----  
項番/コマンド/? を入力して下さい。 ==> q

ニュース表示を終了します。

>> logoff

JET11061I USER COMMAND PROFILE BEING STORED

```
* JSN=123661 CT=00:00:01 ET=0001 MEMORY=272KB OUT=0P
* FILE=(116KB:¥0) ACCT=(A, ¥0, ¥1837, ¥8163)
JET10080I 利用者番号 TSS SESSION ENDED TIME=21:33:30 DATE=95-08-01+
Connection closed by foreign host.
ccews01 /home/ccup01/user1/登録番号/nacsis<152>%
script done on Tue Aug 1 21:33:04 1995
```

-----  
以上のやりかたで画面表示までは出来るのですが、unix/systemでプリントはできておりません。指摘いただいたようにipアドレスで直接相手の汎用機へ接続するのが簡単ですが、前述のように手持ちのパソコン側のソフトがtcp/ipプロトコル対応の専用端末エミュレータである必要があります。これは、手元のパソコンから漢字入力ができる保証のあるものという意味です。

以上がtcp/ip学情網sinetの話しであったのですが、現在も稼働中のN1ネットだとどうなるかと言えば、acos対hitachiであろうがコード変換の問題は20年も前にかたがついておりますから、検索結果をacos上へjourとjtraceでファイルへ残せば画面上でも一バイトカナ文字は表示されますし、\$fpri jでnipプリンタへ出力すればちゃんと印字できます。つまりNTSSについては汎用機と汎用機の間では問題はないはずで。

私も検索キーワードを漢字入力した経験がないので、この点については前述のように完全対応版ソフトを購入するしかないと思うのですが、NACSISにしてもJOISでもsearchやlookでは英数字の対応ができるようになっているのですが漢字の直接キーワード指定しか出来ないのでしょうか、もし仮にバッチ検索が可能なら、キー入力が少ないのであれば、ファイルに漢字をキーワードとして入力しておいてコマンドプロシージャとしてバッチ投入する方法は出来ないのでしょうか、以上かなりラフな回答になりましたが、次のメールでは送信行をお送り下さるようお願いいたします。それから、tcp/ipを介した漢字コードの変換につきましては、センターでもできるだけ多くのケースに対応すべく苦慮しているところです。

-----  
 ACOS-TSS、tar(圧縮)  
-----

ACOS上のファイルをtarでバックアップしたいと思っておりますがこれは可能なのでしょうか。

## ----- 回答 -----

最近のヤングは2400フィートの磁気テープなどひょっとしたらご存じないのでは、いやまさかと思ひましてメールさせて頂きます。勿論tarなんかでかっこうよくミニサイズの8ミリテープにジャーと収めてしまおうとヒラメイテ質問されたのではないかと想像しましてひとこと、センター二階に新スプールがあるのですが、tarでは無理としてもfilsysの出力先を8ミリに向けることは、やっぱり無理だともおもいますが、確認をお願いします。

800フィート9トラック6250bit/inchでもかっこう悪くなかったら前述のスプールを使用するか、以下のjobをacosでrunすればtarと同じ効果を得られます。

-----  
\*list ./save

```
##A, J N
$:JOB:;A, M
$:FILSYS
$:TAPE:PS,,,9999,,TAKECHI,3,DEN62
USERID 利用者番号$password
SAVE 利用者番号/TAPE
$:ENDJOB
***EOF
```

-----  
テープからacosへ戻すときは、

-----  
list ./restore

```
##A, J N
$:JOB:;A, M
$:FILSYS
$:TAPE:PR, ,, 99999, , TAKECHI, 3, DEN62
USERID 利用者番号$password
RESTORE 利用者番号/TAPE
LIST 利用者番号/TAPE
$:ENDJOB
***EOF
```

-----  
で何とかなるのですが。

-----  
**質問** ACOS-TSS、CONNECTION  
-----

教えていただきたいのですが、先週末から何回か879-8981に電話しているのですが、全く通じません。呼出音が延々聞こえるので、話中ではないようです。

-----  
**回答 1**  
-----

早速センターモデムの方はリセット致しますが、こうゆう場合は両方のモデムと設定を疑う必要がありますので、念のために対応方法について説明させていただきます。

1. 今回の場合は、V. 22, V22bis, V. 29の場合ですが、とにかく受話器を取って、879-8981へ電話をしてみてください。呼びだし音の次に接続音のピーと言うのが聞こえれば、相手側モデムは接続が出来るという状態にあります。
2. 次にパソコンとモデムとの間が正常動作ができていないか、の問題はターミナルエミュレータを起動後に、ATコマンドが画面上で動作するかを確かめます。例えばat¥sコマンドで登録情報がスクリーンに現れればokです。
3. モデムの設定は約二カ月で放電してしまって、せっかくの設定値がリセットされる場合があります。しばらく使用しないと設定値が変化してしまって、また最初から設定のやり直しを強いられることが起こります。この場合は上述の1. と2. が動作しても接続されないまま切断が起こります。参考までにセンター側のモデム設定値をお送りしますので確認をお願い致します。

-----  
OK  
at¥s  
IDLE 000:05:44  
LAST DIAL p0068763246  
ID:  
Current User Profile: 0  
MODEM BPS 9600 AT%G0  
MODEM FLOW OFF AT¥G0  
MODEM MODE DUAL AT¥N6  
V. 23 OPR. OFF AT%F0  
AUTO ANS. ON ATSO=1  
SERIAL BPS 9600 AT%U0  
BPS ADJUST OFF AT¥J0  
SPT BPS ADJ. 0 AT¥W0

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

ANSWER MESSGS	ON	ATQ0
SERIAL FLOW	BHW	AT¥Q3
PASS XON/XOFF	OFF	AT¥X0
PARITY	7E	AT
BREAK	5	AT¥K5
EXIT CHAR	043	ATS2=43
CMD ECHO	ON	ATE1
RESULTS	ON	ATQ0
RESULT TYPE	MNPX	ATV1¥V2
CONNECT MSG	MDM	ATW2
CONN MNP-	1	AT-M1
SPEED MATCH	1	AT%L1

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

EQUALIZER	ON	AT:E1
FALLBACK	2	AT-Q2
DATA ECHO	OFF	AT¥E0
INACT TIMER	15	AT¥T15
AUTO RETRAIN	ON	AT%E1
COMPRESSION	OFF	AT%CO
MAX BLK SIZE	256	AT¥A3
AUTO BUFF	0	AT¥CO
AUTO CHAR	000	AT%AO
EMULATING HP	OFF	AT¥H0
PAUSE TIME	005	ATS8=5
DTR	2	AT&D2

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

CARR DET	0	AT&CO
DSR	0	AT¥DO
RING IND	0	AT¥RO
SPKR CTRL	1	ATM1
SPKR VOL	2	ATL2
LEASE LINE	0	AT&LO
ASYNC/SYNC	0	AT&MO
CTS/RTS	0	AT&RO
LNG SPC DISC	ON	ATY1
SIM RING	0	AT:RO
CD DELAY	000	AT:U0
CTS DELAY	000	AT:V0

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

DSR DELAY	000	AT:X0
DISC DELAY	000	AT%D0
REM CHAR	042	AT*S42
REM ENABLE	OFF	AT*E0
REM SEC	OFF	AT*R0
RDLB ENABLE	ON	AT&T4
DIAL MODE	3	ATX3
PULSE DIAL	67%	AT&P1
PULSE MODE	N	AT%W0

V.24 TST MODES OFF AT%HO  
V23 HD EQU ON AT%O1  
GUARD TONE 0 AT&GO

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

ASYNCR PROTOCOL NONE AT:KO  
KERMIT MARK 001 AT:Q1  
2ND FC OFF AT-F0  
NM BIT VALUE 0 AT-E0  
PAR CHK 0 AT-PO  
MANUAL DIAL 0 AT:DO  
RESET CONFIG 0 AT&YO  
UPSHIFT BPS OFF AT\*HO  
CELLULAR OFF AT)MO  
LINETYPE 0 AT@MO  
DETECT PHASE ON AT-J1  
MNP EXT SVC 1 AT-K1

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

READ SWITCHES ON AT\$KO  
O/A BUTTON ON AT\$OO  
S/A SWITCH SYNC AT\$S2  
TD ENABLE ON AT\$TO  
AUTOLOGON VIEW ON AT\$V1  
AUTOLOGON ANS 0 AT\$AO  
DIALBACK SEC OFF AT\$GO  
LL RESTORE ON AT)L1  
LL DIAL BACK ON AT:N1  
LL ORIGIN. TMR 05 AT&V5  
LOOKBACK WAIT 020 AT)W20  
LOOKBACK TIME 60 AT)X60

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

DIAL BACK TMR 040 AT)Y40  
AUTO-RTN THLD 000 AT-A0  
4W EQUALIZER OFF AT)EO  
AUTO-RTN CNTR 000 AT:GO  
AUTO-RTN WNDW 000 AT:HO  
ANSWER DIALBK OFF AT)CO  
REL LOOKBACK ON AT)P1  
CALLBACK TMR 000 AT)HO  
CLOCK SOURCE MDM AT&XO  
UNIV V.23 0 AT-V0  
CONNECT MSG 1ST AT@CO  
V25 COMPLIANCE 0 AT@BO

- STRIKE ANY KEY TO CONTINUE -

BELL OFF ATBO

OK

```
at%s0
FRONT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 TD OA
      U D D U U D D D U D 0 I
```

OK

```
at%s1
REAR 1 2 3 4 5 6 7 8
     D U D U D U D D
```

OK

```
at%r
REG DEC HEX REG DEC HEX
S00 001 01H S14 170 AAH
S01 000 00H S15 000 00H
S02 043 2BH S16 000 00H
S03 013 0DH S17 000 00H
S04 010 0AH S18 000 00H
S05 008 08H S19 000 00H
S06 005 05H S20 000 00H
S07 054 36H S21 144 90H
S08 005 05H S22 230 E6H
S09 006 06H S23 011 0BH
S10 060 3CH S24 000 00H
S11 075 4BH S25 005 05H
S12 050 32H S26 001 01H
S13 000 00H S27 000 00H
T00 040 28H T12 251 FBH
T01 030 1EH T13 015 0FH
T02 000 00H T14 000 00H
T03 033 21H T15 159 9FH
T04 020 14H T16 000 00H
T05 007 07H T17 000 00H
T06 200 C8H T18 000 00H
T07 060 3CH T19 001 01H
T08 000 00H T20 000 00H
T09 017 11H T21 006 06H
T10 019 13H T22 034 22H
T11 249 F9H
```

OK

-----  
以上の設定が確認できれば絶対に接続できる筈であるのですが。

## ----- 回答2 -----

交換回線用電話番号一覧は最新のセンターニュースの最終ページで確認してください。通信に関してはネットワーク掛に連絡(06-879-8817)していただけると対応は早いかと思います。ACOSに接続する場合はV. 29のモデムでないかぎり、879-8980で接続するほうが良いと思います。(V. 22bis以下のクラスであればどちらも同じですが・・・) 設定に関しては、最近のモデムは初期値のまま利用できる筈です。構内電話を利用している場合はATX3を事前に入力していた方が良いでしょう。

-----  
 SX3、NQS  
 -----

NQS の Abort メッセージについてお尋ねします。  
 ある Job の実行がおわったので、結果をみると

```

0.13607 -1.28997 -1.22086 0.15929 0.03462 0.10867 -3.14797
0.16593 -1.22272 -1.29936 0.13938 0.01649 0.03995 -3.07960
0.12964 -1.31628 -1.13237 0.16358 0.06859 0.08764 -3.10295
  
```

```

JOB-ID: 00559   REQUEST NAME: Sokonoke!
USER NAME: 登録番号   HOST NAME: ccsx3
QUEUE NAME: x
REQUEST TIME: ?
START TIME: ?
END TIME:      Oct 19 16:42:37
STATUS: ABORT
  
```

TOTAL

```

CPU TIME (SECS): 3814.37   REAL TIME(SECS): 0.00
MAXMEM SIZE(K): 24608
  
```

というふうに、3814秒動いて終了していました。ところが、何故かRequest Time も Start Time も ? で、End Time だけ表示されています。システムのエラーメッセージの方は

```

      VEC  1 : Vectorized by D0 index i
      NO ERROR
b.out(lang:f77): signal trap(SIGXCPU: CPU time limit exceeded)

%NQS(INFO): The request received a signal SIGXCPU (exceeded cpu limit).
  
```

となっていて、明らかに実行時間オーバーで停止している事を示しています。  
 それで、システムによって作成された Sokonoke!.e9778 という見慣れないファイルを表示させると、

```

ReqStatus: aborted.
ReqID:     9778.ccsx3
ReqName:   Sokonoke!
ReqOwner:  登録番号
AcctCode:
OrgHost:   ccsx3
CurDir:   /home/ccsx3/user3/登録番号
MailAddr:  登録番号
SentAt:    Wed Oct 19 16:43:04 JST 1994
  
```

```

Request aborted via a signal.
Request deleted.
  
```

Aborting signal was: 30.

ReqImage:

----- BEGIN -----

```

# @$-lT 4:59:59      # time limit per request:3 min.
# @$-lt 4:59:59      # time limit per process:5.6 min.
# @$-lM 39MB         # memory limit per request: 90MB
# @$-lm 39MB         # memory limit per process: 90MB
# @$-r Sokonoke!
# @$-o Q66.ou2       # set stdout to Test.out in the
#                   # $working directory
# @$-e Q66.er2       # set stderr to Test.err file in the
#                   # $working directory
# @$-s /bin/csh      # set the shell to be used to interpret
#                   # the following script and commands.
# @$-jo              # appends the Job Accounting Report to
# @$-q x              # stdout
# @$                 # end of embedded options for QSUB
setenv F_FF08 qmc/rn30bit
setenv F_FF07 qmc/out1
f77sx -o b.out qmc/pam2D.f
b.out
unalias rm
rm -f pam2D.o
rm -f b.out
#

```

----- END -----

と書かれていました。そこで、質問です。このジョブは、一体何秒走ったのでしょうか？（残りの計算を何秒すればよいかを知るため）また、通常のタイムオーバーとは違ったシステムメッセージが出た原因は何なのでしょう？

## ----- 回答 1 -----

このジョブは実行途中でsystemのshutdownがあったため、再実行後のCPU時間がこの "3814.37" 秒 となっています。ジョブ全体としては、

```
SYS CPU TIME(SECS): 221.34  USER CPU TIME(SECS): 17777.93
```

となっています。

そこで、JOR(ジョブオカレンスレポート)では再実行された場合ご指摘のような表示となってしまったためつぎのようにすれば正しく表示されるものと思います。

```
setenv F_PROGINF DETAIL
a.out
```

正しくと言いましたが正確には、コンパイルやその他のコマンド分のCPU時間は含まれずロードモジュールの実行時間計測が可能となります。

## ----- 回答 2 -----

とりあえず中間回答ということで今解っていることだけお伝えしますとまず、

```
> REQUEST TIME: ?
> START TIME: ?
> END TIME:      Oct 19 16:42:37
```

この "?" ですが、SXのアカウント情報"pacct"ファイルは全てのプロセス情報ファイルで、1日に一度、他の directoryに移動させます。このファイルは大変巨大なサイズとなるため1日単位でおこなっています。そのため、たまたまジョブのスタートと終了日付が異なった場合、開始情報がカレントの"pacct"ファイルには存在しないため、?として表示されてしまいます。



f77sx コマンドでも全く同様に扱えます。

通常皆さんf77sxコマンドを使っておられると思いますので、念のために蛇足させて頂きました。



### SX3、浮動小数点

スーパーコンピュータ利用の手引 p.4 の注 7 に「IEEE 浮動小数点形式のファイルと SX-3 標準の浮動小数点形式とを相互に自動的に変換する。」という記述があります。これは具体的にはどのようなもので、どう使えばいいのか教えて下さい。

fortran からファイルなどへの入出力時に、浮動小数点形式の表現を変換してくれるものなのでしょうか。

### 回答

あまり詳しくはないのですが、SX3Rは、3種類の浮動小数点形式を取り扱えまして、

	単精度実数の 記憶単位	入出力	内部表現形式
1) IEEE浮動小数点形式	4バイト	○	×
2) 浮動小数点形式1	4バイト	○	○
3) 浮動小数点形式2	8バイト	○	○

となっています。このうち、IEEE浮動小数点形式というのは、通常のUNIXワークステーションで、FORTRAN で書式無し出力を行って作成されたデータファイルのこと(らしい)で、他が、SX3R独自の形式です。

SX3Rで、各々の書式無しファイルの入出力を行うときには、環境設定が必要になります。例えば、装置番号1、2で各々の形式で入出力を行う場合は、

- 1) IEEE浮動小数点形式    setenv F\_UFMTIEEE 1,2
- 2) 浮動小数点形式1      setenv F\_UFMTFLOAT1 1,2
- 3) 浮動小数点形式2      setenv F\_UFMTFLOAT2 1,2

と言うコマンドを実行してやります。蛇足ですが、解除には unsetenvコマンドを使用します。この際、整数型、論理型を含めた要素間の長さの調整を行うかなどについて、F\_UFMTADJUST オプションが存在しますが、ややこしくてとてもここに書ききれません(と言うより私がよく解らない(^\_^;))ので、必要とされる場合は、「Super-UX FORTRAN77/SXプログラミングの手引き」p.247- and p.305- を、ご覧下さい。

また、内部表現にどの形式を使うかは、コンパイルオプションで一意に決定されてしまいます。この変数は形式1で、この別の変数は形式2で、と言うわけには行かないようです(少なくとも私の知る限り)。オプションを指定しない場合は、環境変数 FLMOD が、float1 か、float2 かによります。コンパイルオプションは、-float1、-float2 です。float2 を指定すると、精度自動拡張機能などが、働かなくなりますのでご注意ください。

と、偉そうなことを書いてきましたが、取り急ぎのマニュアルの受け売りで、まだ試してみせておりません。どうか、一度お試し下さい。変なときは又、ご連絡頂ければ幸いです。



### SX3、文字化け

Htermを使ってccsparc01またはccews01にloginし、さらにccsx3にrloginしたところ、ワークステーションは問題ないですがsx3では一部文字化けします。

設定変更しなければいけない箇所教えて下さい

## 回答

一部文字化けというのはおそらく漢字の文字化けだと思います。

つぎの2つの変更をおこなってください。

1. SX-3では漢字コードがEUCですから HTERM の設定を変更する必要があります。メニューの Generalを選択すると、2段右に漢字コードが表示されています。ここが New JIS となっているはずですからリターンキーを押すことにより EUC となります。
2. SX-3で "setenv LANG japan" とします。

以上の設定だけで結構です。



## SX3、ファイル削除

ファイルを削除したいのですが、方法を教えてください。また、どういうファイルがあるのか確認する方法も併せて教えてください。

## 回答

削除したいファイルはどの機械でしょうか???

センターの機械のうちワークステーション、SX-3、ACOSのファイルは別物です。

とりあえず、ワークステーション、SX-3について、ACOSの時は、また mail して下さい。

OSはUNIXを使っていますので、基本的なコマンドは共通です。

どれくらいファイルがあるか見たいとき、

```
ccsparc01% ls -aFxr
```

コマンド ls: ディレクトリの内容表示

オプション a: ディレクトリ内の全てのファイル

F: ファイルの後ろに ディレクトリの場合 /

実行形式の場合 \*

シンボリックの場合 @ が付きます。

x: ソートしてマルチカラム形式で出力します。

R: サブディレクトリも見にいきます。

ファイルが多い場合は、上記のコマンドのあとに | more (パイプとモア)を付けておくと1画面分で表示が止まります。また、ファイルの属性を知りたいときはオプションに l を加えて下さい。

ファイルの種類を知りたいとき

```
ccsparc01% file ファイル名
```

コマンド file: ファイルの種類の確認

テキストファイルであるかどうか確認が出来ます。

ファイルの内容が見たいとき (テキスト形式)

```
ccsparc01% more ファイル名
```

他に page, less, cat 等もあります。

ファイルを削除したいとき、

```
ccsparc01% rm -ir ファイル名
```

コマンド rm: ファイルの削除

オプション i: 削除時に確認が行われます。

r: 指定したディレクトリをサブディレクトリまで削除します。

ディレクトリを削除したいとき、  
ccsparc01% rmdir ディレクトリ名  
コマンド rmdir: ディレクトリの削除 空のディレクトリのみ削除します。

とりあえずこんなもので、詳しくはUNIXの解説書または、オンラインマニュアル  
ccsparc01% man コマンド名  
でお調べ下さい。

---

### SX3、ファイル

SX-3R の file を 整理したいのですが、下記の ファイルの 内容がわかりません。

```
codep1  
codep2  
core
```

ご教示ください。

---

### 回答

codep1,2は、できたことがないのでよくわからないのですが、coreは、何かプログラムが異常終了したときなどにできる、その時のメモリの中身で、詳しい方なら利用できるのですが、少なくとも私にとっては、見ても何にもわかりませんので、役に立たない、ただでかいだけのファイルです。恐らく、消してしまって差し支えないと思います。

codep1,2も、作られた御記憶がないのであれば、何かのアプリケーションが利用したテンポラリーなファイルの消し忘れの可能性が高いと思いますので、少し自信がありませんが、消してしまっても宜しいのではないかと存じます。

---

### SX3、ERROR

SX-3上でmhdarcという実行ファイルを以下のように実行させたところ下記のようなエラーメッセージがでました。これはjobクラスの違いによるものなのでしょうか。もしそうであるなら、どのようにクラスを変更すればよいのでしょうか。

```
ccsx3 <152>%mhdarc<Input_data/sol_dat>listsoll  
mhdarc: Not enough space
```

---

### 回答

恐らく、会話型で実行するには、必要なメモリが大きすぎるプログラムだと思われます。バッチで実行するしかありませんが、uクラスでは、会話型と同じ40MBが制限ですので、vクラス以上で実行する必要があります。

バッチで実行するには、簡単なスクリプトファイルが必要ですが、例えば、

```
#!/usr/bin/sh  
# @$-lt "120:00"  
# @$-lm "180MB"  
# @$-q w  
# @$
```

```
mhdarc<Input_data/sol_dat>listsoll
```

という中身のスクリプトが、mhdarc.sh という名前で作られたとしますと、  
qsub mhdarc.sh

と、コマンドを入力するとwクラスのjobが起動されます。jobが終了しますと、listsollに（恐らく）結果が書き出されているものと思われます。詳しくは、「スーパーコンピュータ利用の手引き（NQS編）」をセンターでもらって下されば、詳しく書かれているものと思われます。

#### 質問 SX3 可視化

sx-3で計算した流体計算の結果を可視化したいのですが、難しいでしょうか。

#### 回答

センターのシリコングラフィックスの担当はすでにご存知かも知れませんが、水曜日プロ相が担当しておられますので詳細は本人宛メールをお願いしたいと思いますが、今回の質問につきましては、センターニュースvol. 23, No. 4, 1994-2に`IRIS-4Dで二次元情報を三次元空間へ展開する方法`が載っておりますので参考になるのではと思います。出力はやはりセンターのcciris01を使用する必要があると思いますので足を運んで頂く必要があるかと存じますが、前述の文献に使用方法についての参考文献のリストが記載されておりますので一読して頂けるようお願いいたします。

#### 質問 SX3、コンパイラ

SX3のCコンパイラを使ってみたのですが、以下のコンパイルエラーが出て、うまくいきません。どうすればいいか教えてください。このソースコードは、SPARC01のCでは、コンパイルできたものです。

```
ccsx3 <152>%cc bra39b.c
"bra39b.c", line 114: warning: ambiguous assignment : assignment operator not followed by blank
"bra39b.c", line 114: warning: old-fashioned initialization used
"bra39b.c", line 114: warning: old-fashioned initialization used
"bra39b.c", line 114: syntax error
"bra39b.c", line 117: warning: old-fashioned initialization used
"bra39b.c", line 117: warning: undefined identifier t1 : assumed to be 'extern int'
```

#### 回答 1

初めにお断りしておきますが、私は必ずしもCが得意ではありませんので、私でわかるかどうかは、定かではありません。申し訳ありません。ただ、えーっと、FORTRANでもそうですが、特にCでは、エラーメッセージだけでは、何のためにそれが出力されているのか、わからないことがおおいのです。従って、できれば、ソースプログラムが閲覧できるとありがたいのですが、ご指摘のファイルは、重要なファイルと見えて、他ユーザーからは、読めないモードになっていました。このままでは、多分、他の、Cの得意な相談員の方もわからない可能性が高いのではないかと思います。

もし、極秘プログラムか何かでしたら、ソースプログラムのリストを、ご面倒でも、直接持って来て頂けると有り難いです。そうでない場合は、暫くの間だけでも、chmodして頂ければ助かるのですが・・・

#### 回答 2

sx3のc言語は k & r のコンパイラです。sparc01は ansiですので一度オプションを試してください。

```
cc bra39b.c -h ansi
```



SX3、NQS

現在、SKYLINE法を用いた有限要素法プログラムを、SX3上でNQSにより実行させています。以下の3つの質問・疑問があります。

1. プログラム中で 約180MByte のtemporary fileを使用していますが、これを以下のOPEN文で開くことは可能でしょうか？

```
.....
OPEN(8,,STATUS='SCRATCH',FORM='UNFORMATTED')
```

現在はFILE名指定により、磁気ディスク上にOPENしています。そのため、解析結果を保存する領域が足りなくなります。(解析結果 + 一時ファイルで200MByteを超える)

2. NQSによるバッチジョブ投入可能なマシンはセンターの EWS4800 のみなののでしょうか？  
また、(私たちの)研究室にEWS4800/360が1台あるのですが、こちらからNQSによるバッチジョブ投入はできないのでしょうか？
3. センターのWS(ccews01)をNQSバッチジョブ投入に利用していますが、環境設定コマンド(kankyou)が使用できません。

## 回答

- > 1. プログラム中で 約180MByte のtemporary fileを使用していますが、これを以下のOPEN文で開くことは可能でしょうか？

```
> .....
> OPEN(8,,STATUS='SCRATCH',FORM='UNFORMATTED')
```

OPEN文でtemporary fileを使用できます。ただし、上の例では装置番号8の後ろに , (コンマ) が2つあるのがエラーになります。 , (コンマ) を1つにしてください。

- > 2. NQSによるバッチジョブ投入可能なマシンはセンターの EWS4800のみなののでしょうか？また、(私たちの)研究室にEWS4800/360が1台あるのですが、こちらからNQSによるバッチジョブ投入はできないのでしょうか？

ews, onyx, sparc, hp各マシン用のNQSクライアントを配布しています。詳しくは、システム管理掛(内線8813)にお問い合わせください。

- > 3. センターのWS(ccews01)をNQSバッチジョブ投入に利用していますが、環境設定コマンド(kankyou)が使用できません。

kankyouコマンドはsparcでしか使えるようになっておりませんでした。ewsでも使用できるように至急変更いたします。



SX3、f77sx、float2

SX-3R で、float2(拡張指数形式)のオプションをつけて、asl のライブラリを使おうとし、% f77sx -float2 program.f /usr/lib/asl とすると、

ld: ファイル/usr/lib/asl(VFCTSF.o)は浮動小数点データフラグが異なっています。

というメッセージが出て使えないのですが、どうすれば使えるのですか？

## 回答

float2(拡張指数形式)のオプションは、単精度サブルーチンでのみ使用可能です。倍精度サブルーチンを使用したいのであれば、float1(標準形式)を使用することをおすすめします。